

令和 2 年 11 月 10 日現在

機関番号：12606  
 研究種目：基盤研究(C)（一般）  
 研究期間：2016～2018  
 課題番号：16K02304  
 研究課題名（和文）タイム・ベースド・メディアの保存と修復 東京藝術大学から生まれる卒業制作

研究課題名（英文）Conservation of time-based media art; Graduation works of Tokyo University of the Arts

研究代表者  
 平 諭一郎（Taira, Yuichiro）  
 東京藝術大学・学内共同利用施設等・准教授

研究者番号：10582819

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,400,000円

研究成果の概要（和文）：東京藝術大学が所蔵する芸術資料のうち自画像と優秀卒業制作品から、時間を計測基準にした新たな芸術作品106点を選定。作品群の素材や構成、保存状態、再生（表示）および展示可否など詳細な調査をおこない、必要に応じて媒体移行を実施した。平成30年度には成果発表として、東京藝術大学大学美術館にて、展覧会「芸術（アート）の保存・修復 - 未来への遺産」を開催。展覧会記録を含めた論考集としてカタログ『芸術の保存・修復 - 未来への遺産』を発行し、研究成果を一般に公開した。

#### 研究成果の学術的意義や社会的意義

研究成果の発表として、最先端の文化財複製（クローン文化財）や、仏像の3D原型を、模写や模造、文化財修理と同じ文脈で扱う試みを実施。東京藝術大学が収蔵する卒業制作や自画像を、芸術の保存や修復に関する視点から選定し、掛軸や木彫、ビデオやテレビ、デジタルメディアなど様々な媒体を用いた作品およそ90点を展覧会場に並べた。現代の芸術における保存修復をめぐる諸問題を、文化財保存の事例を参照し考察し、現代の作品実態に即した新たな文化財保存修復の分野再編を促した。

研究成果の概要（英文）：We selected 106 time-based media artworks from self-portraits and graduation works by Tokyo University of the Arts. We conducted a detailed survey of the material, composition, condition, and whether or not it was displayed, and carried out media migration as necessary. An exhibition planned by us was held in the University Art Museum as research result presentation. A catalog was published as a collection of articles including exhibition records, and the research results were made public.

研究分野：文化財、美術、芸術の保存、修復、継承

キーワード：保存 修復 継承 特異点 臨界 同一性 真正性 完全性

## 様式 C-19、F-19-1、Z-19、CK-19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

現在、世界中の美術館には、美術、音楽、映像、身体表現等が融合し、ものとしての単一性、独立性を有していない新たな芸術作品が数多く収蔵されている。フィルムやビデオ、コンピュータ・アート、メディア・アート、インスタレーション、パフォーマンス等の様々な表現形態を含むそれら新たな芸術作品は、伝統的な芸術作品の計測基準が寸法であることに対して、時間を計測基準にしたタイム・ベースド・メディアとして欧米を中心に定義されている。その多くに用いられている新しいメディアは日進月歩のテクノロジーに影響を受けやすく、時代を超えて新たなメディアへの移転を含めた長期的な保存計画と修復理念の構築は喫緊の課題である。

### 2. 研究の目的

本研究は、東京藝術大学が収蔵する卒業制作品のうち、時間を計測基準にした新たな芸術作品（メディア・アート、インスタレーション等）の悉皆調査、長期保存計画、および新たな作品制作、展示を一貫して実施し、代替メディアへの移行を含めた体系的な保存・修復理念の確立を目指すものである。

### 3. 研究の方法

#### 1) 時間を計測基準にした新たな芸術作品の保存調査方法の確立

東京藝術大学が収蔵する卒業制作品を対象に、時間を計測基準にした新たな芸術作品を悉皆調査し、保存状態の確認およびトリージ（修復優先度選別）をおこない、伝統的な作品状態調査をもとに現代的な芸術作品に対応できる新たな保存調査方法を確立する。

#### 2) 長期保存、修復計画の立案

文化財保存の専門家、アーティスト、キュレーター、アーキヴィスト、コンサバターと、展示設営を担うインストーラー、テクニシャンが協働して、ものとしての独立性を有していない、保存や修復が最も困難であると考えられる、時間を計測基準にした新たな芸術作品を検討し、検証サンプルとして新規に制作する。また、制作過程から作品の収蔵、保存、修復に何が必要かを考察。展覧会を通じて作品から得られる体験が保存されているかを検証し、時間を計測基準にした新たな芸術作品の物質的、概念的同一性が保存される手法の確立を目指す。

### 4. 研究成果

研究期間全体を通じて、東京藝術大学が所蔵する芸術資料のうち自画像と優秀卒業制作品から、時間を計測基準にした新たな芸術作品 106 点を選定。作品群の素材や構成、保存状態、再生（表示）および展示可否など詳細な調査をおこない、必要に応じて媒体移行を実施した。

平成 30 年度には展覧会形式での成果発表に向けて、展覧会概要および展示作品の選定、作品の新規制作と長期保存と修復理念の構築を進め、平成 30 年 10 月 2 日（火）から 10 月 18 日（木）まで東京藝術大学大学美術館にて、展覧会「芸術（アート）の保存・修復 - 未来への遺産」を開催。

東京藝術大学の卒業制作や自画像を、芸術の保存や修復に関する視点から選定し、掛軸や木彫、ビデオやテレビ、デジタルメディアなど様々な媒体を用いた作品およそ 90 点を会場に並べ、最先端の文化財複製（クローン文化財）や、仏像の 3D 原型を、模写や模造、文化財修理と同じ文脈で扱う試みを実施。現代の芸術における保存修復をめぐる諸問題を、文化財保存の事例を参照し考察した。また、展覧会記録を含めた論考集としてカタログを発行し、研究成果を一般に公開した。

### 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕（計 10 件）

- ① 平 諭一郎、大学における文化財の複製・再現・復元、文化財保存修復学会誌、62、2019、pp.58-62
- ② 平 諭一郎、法隆寺金堂空間の再現、シルクロード特別企画展「素心伝心」クローン文化財失われた刻の再生、2017、pp.42-49
- ③ 平 諭一郎 他、バーミヤン東大仏龕天井壁画の復元、シルクロード特別企画展「素心伝心」クローン文化財 失われた刻の再生、2017、pp.105-110
- ④ 平 諭一郎 他、桜芥子図襖—クローン文化財による持仏堂の再現、龍子没後 50 年特別展図録、2017、pp.20-26
- ⑤ Yuichiro Taira et al., "Clone Cultural Property; New Way of Conservation", EVA Berlin 2017, 2017, pp.81-88  
ISBN 978-3-88609-801-9  
<http://books.ub.uni-heidelberg.de/arthistoricum/catalog/book/443>
- ⑥ Yuichiro Taira, "Restoration of Artworks Using CRT Televisions", International Symposium: Collecting and Exhibiting New Media Arts, Collected Papers of

SYMPOSIUM, National Taiwan Museum of Fine Arts, 2016, pp.172-181

- ⑦ 平 諭一郎、文化財とテロリズム、ユーラシア研究、55、2017、pp.44-46
- ⑧ 平 諭一郎 他、文化財の新たな復元—バーミヤン東大仏龕天井壁画とアイ・ハヌム遺跡ゼウス半身像、ユーラシア研究、55、2017、pp.30-37
- ⑨ 平 諭一郎、文化財保存修復の最前線—東京藝術大学 COI 拠点の取組み、日本デザイン学会環境デザイン部会機関誌 ED プレイス、77、2017、pp.4-7
- ⑩ 平 諭一郎、美術と文化財の遺伝子—保存修復理念再考、東京芸術大学社会連携センター Bulletin、査読有、第 2 号、2017、pp.20-46  
[http://sharen.geidai.ac.jp/project\\_kiyou.html](http://sharen.geidai.ac.jp/project_kiyou.html)

〔学会発表〕（計 7 件）

- ① 平 諭一郎、文化財の保存修復と美術の保存修復、文化財保存修復学会第 40 回大会、2018
- ② Yuichiro Taira et al., "Clone Cultural Property; New Way of Conservation", EVA Berlin 2017, 2017
- ③ 平 諭一郎、大学における文化財の複製・再現・復元、文化財保存修復学会シンポジウム「文化財を伝える—複製・復元の現在と未来—」、2018
- ④ 平 諭一郎、文化財の保存・修復・復元—その主体とメディア、日本オプトメカトロニクス協会デジタルイメージング技術部会、2017
- ⑤ 平 諭一郎、文化財の新たな継承—テロリズムの無効化、第 6 回知識・芸術・文化情報学研究会、2017
- ⑥ Yuichiro Taira et al., "Revitalization of the mural paintings of the ceiling of the Eastern Buddha niche", 13th Expert Working Group Meeting for the Safeguarding of the Cultural Landscape and Archaeological Remains of the Bamiyan Valley World Heritage Property, 2016
- ⑦ 平 諭一郎、メディア・アートの保存と修復—日本と台湾と欧米と、文化財保存修復学会第 38 回大会、2016

〔図書〕（計 1 件）

- ① 平 諭一郎 他、東京芸術大学、芸術の保存・修復 —未来への遺産、2019、80

〔産業財産権〕

○出願状況（計 0 件）

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年：  
国内外の別：

○取得状況（計 0 件）

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年：  
国内外の別：

〔その他〕

展覧会（計 1 件）

- ① 平 諭一郎 企画・監修、展覧会「芸術の保存・修復 —未来への遺産」、東京芸術大学大学美術館地下 2 階展示室 2、2018 年 10 月 2 日～10 月 18 日

新聞、雑誌（計 4 件）

- ① 朝日新聞、2018 年 10 月 3 日夕刊、3 頁
- ② 毎日新聞、2018 年 10 月 15 日夕刊、3 頁
- ③ 東京芸術大学広報誌『藝える』第 3 号、2018 年 9 月 30 日、38 頁
- ④ 広報 たいとう 第 1212 号、2018 年 9 月 5 日、5 頁

## 6. 研究組織

### (1) 研究分担者

研究分担者氏名：薩摩雅登

ローマ字氏名：Masato Satsuma

所属研究機関名：東京藝術大学

部局名：大学美術館

職名：教授

研究者番号（8桁）：80272657

### (2) 研究協力者

研究協力者氏名：久保仁志

ローマ字氏名：Hitoshi Kubo

研究協力者氏名：栗原寿行

ローマ字氏名：Toshiyuki Kuwabara

研究協力者氏名：西川竜司

ローマ字氏名：Ryuji Nishikawa

※科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。